

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PURE 篠原校		公表日		2026年3月12日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	敷地内の庭や複数の活動室を活用し、お子様の特性やプログラムの内容に応じて、適切な集団規模への「分散化」を徹底しています。特に天候の良い日は屋外での活動を取り入れるなど、開放感のある環境設定に努めております。	今後は、室内での密集を避けるため、少人数グループによる安全性を重視したプログラム構成をさらに強化し、近隣の公園や体育館といった外部施設も戦略的に併用することで、心身ともにのびのびと活動できる環境の維持・拡大に努めてまいります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	専門職や加配職員を基準以上に配置し、手厚い支援体制を維持しています。一方で、現在、児童指導員の職種構成において特定の職員へ業務が偏る傾向にあることが課題です。	今後は、スタッフ間の業務分担を詳細に見直し、特定の個人に依存しない「業務の標準化」を推進いたします。併せて、職員がゆとりを持って高品質な療育を提供できる持続可能な体制の構築に邁進してまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	活動によって部屋を分けることで、わかりやすくしている。	現在はバリアフリー対応が必要なお子さまはいらっしゃいませんが、今後の受け入れを見据え、環境面の課題として検討していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	ログハウスで家庭的雰囲気。床の張り替えにより清潔感が増したので今後も、清掃などを徹底していきたい。	お湯を沸かして適温にし、手洗いや活動を実施しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	奥に静かに1人でいられる部屋がある。個別の部屋の入口には、入れます・入れませんの札を下げ、周囲にもわかるようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	ミーティングの中で職員間で話し合うことができている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向け評価表でいただいた意見は、今後の支援に生かしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日頃から、気軽に話し合える雰囲気や環境をつくっている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	年間計画に基づき、毎月研修を実施している。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	モニタリングから保護者のニーズを聞き取り、日々の児童記録や専門的実施記録、支援員の報告を聞き計画書作成をおこなっている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援者会議をおこない、みんなの意見や同意をとって計画書の作成をおこなっている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援会議後に、計画書の回覧をおこない、全ての職員に共有している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	計画書を元に支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	担当者が内容を決めて、職員間で共有し話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	保護者のニーズに合わせてタイムリーに活動内容に取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	1人1人の状況に応じて、個別と集団活動を用意し提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前にその日の担当者を中心として打ち合わせをおこない、役割分担し連携をおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		職員の勤務時間が異なるため、その日ではなく翌日に振り返りを行う時もありますが今後も、共有を徹底していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	活動の内容や様子はもちろんのこと、来所時や自由時間の様子など気になる点を記録に残している。利用日以外でも保護者や相談支援員とのやりとりも残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6ヶ月未満であっても必要なタイミングでモニタリングをおこない、計画書の見直しをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動を強制するのではなく、それぞれの意見を聞きどうすれば参加できるかを本人と相談しながら支援をおこなっている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	利用している他サービスの担当者も集めて、定期的に会議をおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		医療機関との直接的な連携は難しい場合もありますが、書類や保護者様を通して情報共有を行い、連携に努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者から下校時間を共有してもらったり、送迎時に直接学校との情報共有をおこなっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		相談支援事業所を通して聞き取りを行い、必要な情報の共有に努めています。今後も継続して連携を図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		相談支援事業所を通して引き継ぎを行ったり、書面を通して保護者様から情報提供をいただくなど連携を図っています。今後も継続して情報共有に努めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		現在は直接助言や研修を受ける機会はないので、今後そのような機会を検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		少しずつ地域の行事に参加していく計画を立てていますので、今後は実施に向けて動いていきます。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		現在は児発管が参加していますが、今後は必要に応じて他の職員も参加できるよう検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	モニタリングだけでなく、保護者と連絡帳や送迎時に必要な情報交換や相談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	年2回保護者会を実施。保護者同士での交流・意見交換をできる場を作っている。	保護者会等の保護者さまが、参加して頂きやすい形で実施を検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎時での聞き取りや連絡帳等で家庭の様子や悩みを聞き随時相談をお聞きしたり、助言をおこなっている。必要な場合は別日に面談をするなどしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	定期的な教室開放や保護者会を実施し、保護者様同士の相互理解や情報交換の場を積極的に提供しています。	施設の広さや駐車スペースの制約により、現在は3部制にするなどの分散開催を行っておりますが、今後はより多くの保護者様が一度に参加できるよう、外部会場の借用も視野に入れ、交流機会の質的・量的充実を努めてまいります。これにより、保護者様同士のコミュニティ形成をより強力にバックアップしてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	ICTシステム(HUG)を用いた安全計画の配信や、SNSによる活動状況の可視化を行い、情報の透明性を確保しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	重要情報の厳重な管理(鍵付きロッカー等)や、マニュアル類の冊子化による即時閲覧体制を整えています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	業務継続計画(BCP)に基づく訓練を定期的実施し、非常時においても速やかにこお子様の安全を確保し、支援を継続できる「危機に強い事業所運営」を徹底してまいります。	今後、まずは地域のイベントに参加し、交流を行っていくことを検討しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	自由に閲覧できるように冊子にし用意している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		予防接種の確認まではできていないため、今後は聞き取りを行っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	契約時と年度初めに個人カードにて確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	前年度3月に次年度の安全計画1年分を作成、それに基づいて研修や訓練を実施できている。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットが起きた場合はすぐに管理者に報告し、事業所内で共有。対策を考え、書類に残し、いつでも閲覧できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		